

東北地方 1 か月予報

(9 月 9 日から 1 0 月 8 日までの天候見通し)

平成 1 8 年 9 月 8 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

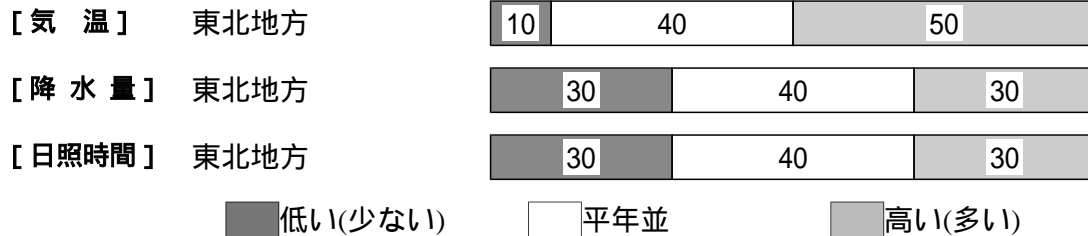
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

東北地方は、期間のはじめは前線や気圧の谷の影響で雨の日が多いでしょう。その後は、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

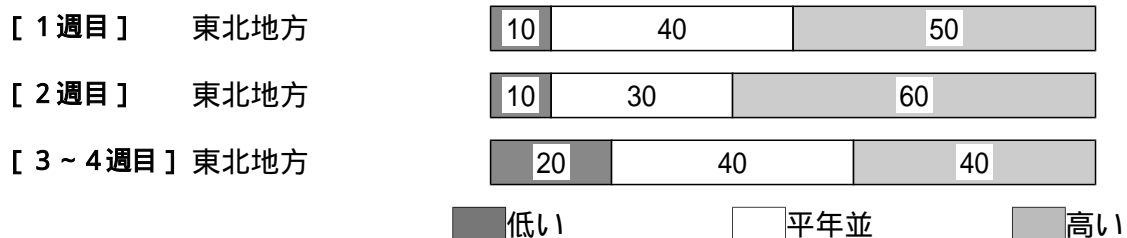
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で高い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目は東北地方で高い、3 ~ 4 週目は東北地方で平年並が高いでしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 9 月 9 日 (土) ~ 1 0 月 8 日 (日)
1 週目 : 9 月 9 日 (土) ~ 9 月 1 5 日 (金)
2 週目 : 9 月 1 6 日 (土) ~ 9 月 2 2 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 9 月 2 3 日 (土) ~ 1 0 月 6 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 9 月 1 5 日
3 か月予報 : 9 月 2 5 日 (月) 1 4 時
寒候期予報 : 9 月 2 5 日 (月) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	17.3	110.3	160.7	19.5	18.2	16.1
深浦	17.6	163.6	153.0	19.6	18.5	16.6
むつ	16.5	159.2	151.3	18.5	17.4	15.5
八戸	17.1	141.7	148.6	19.2	18.0	16.1
秋田	18.2	163.0	154.5	20.5	19.2	17.1
盛岡	16.6	135.5	131.5	19.0	17.6	15.4
大船渡	17.9	204.2	125.3	19.9	18.7	16.8
宮古	17.2	212.4	129.9	19.1	18.0	16.2
仙台	18.9	197.4	124.1	20.9	19.7	17.9
石巻	18.4	155.5	135.8	20.5	19.3	17.4
山形	18.0	120.0	123.7	20.4	19.0	16.7
新庄	17.3	147.5	110.0	19.8	18.3	16.0
酒田	19.0	172.7	147.0	21.1	19.8	17.9
福島	19.2	161.3	115.3	21.4	20.0	18.1
若松	18.2	122.9	117.8	20.7	19.2	16.9
白河	17.5	195.1	111.9	19.7	18.3	16.4
小名浜	19.9	202.8	130.8	21.9	20.7	18.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ～ +0.2	86 ～ 110	92 ～ 108
東北日本海側	-0.5 ～ +0.2	88 ～ 113	93 ～ 108
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.1	86 ～ 111	92 ～ 109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.5	-0.6 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.3
東北日本海側	-0.8 ～ +0.6	-0.7 ～ +0.4	-0.6 ～ +0.3
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.5	-0.6 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.3

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 9 月 8 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (9 月 9 日～10 月 8 日) :

東北地方は、期間のはじめは前線や気圧の谷の影響で雨の日が多いでしょう。その後は、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

1 週目 (9 月 9 日～9 月 15 日) :

東北地方は前線や気圧の谷の影響で雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

2 週目 (9 月 16 日～9 月 22 日) :

天気は数日の周期で変化し、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3～4 週目 (9 月 23 日～10 月 6 日) :

天気は数日の周期で変化し、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

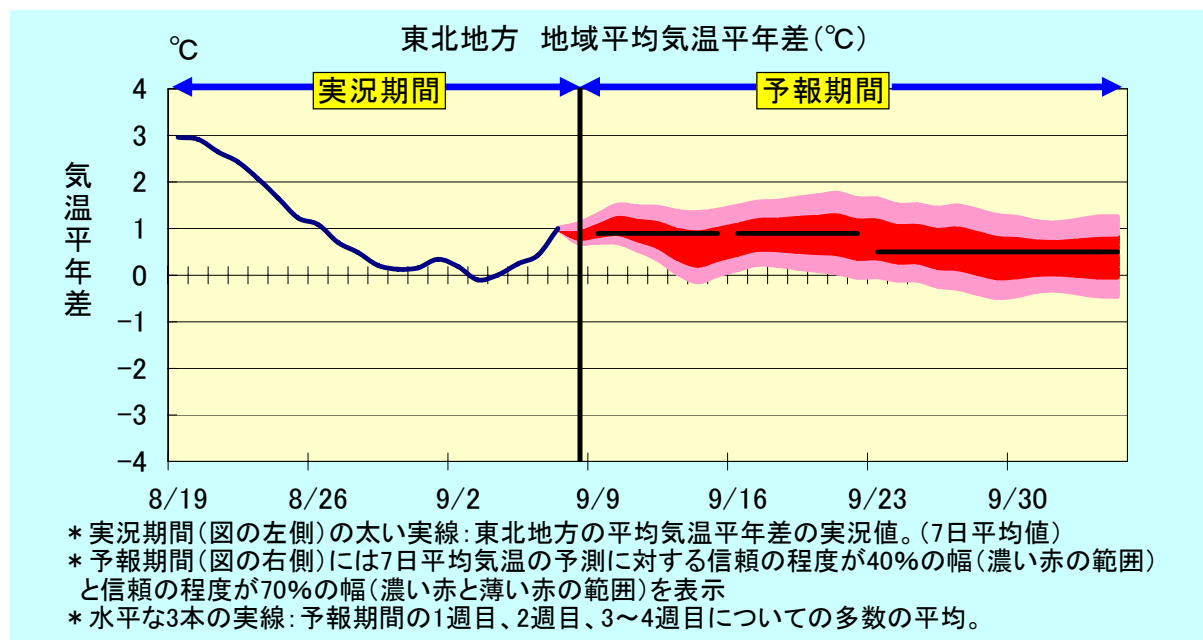
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.3 日	3.0 日	3.5 日	6.8 日
東北太平洋側	12.8 日	2.6 日	3.2 日	7.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「高い」と予測している。予報は、その他の資料から、3～4 週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は小さい。



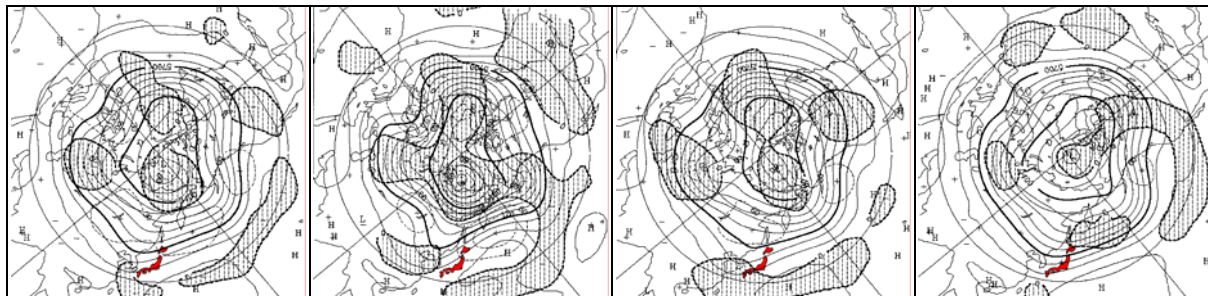
3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近が負偏差で中緯度帯はヨーロッパ付近で波の振幅が大きく、極東から太平洋の中緯度帯は帯状に正偏差。日本付近は東シナ海に負偏差が広がり西谷傾向。

1 週目は、極付近はカスピ海の北から東部太平洋と日本の南海上まで続く負偏差。朝鮮半島から華北、華中は負偏差だが、日本付近はカムチャツカ半島の南に中心を持つ正偏差で明瞭な西谷。

2 週目は、バイカル湖から千島付近に強い正偏差域があり東日本以北は正偏差。中国東部から西日本は負偏差で西谷傾向。極からシベリアにかけてと、日本の南海上は負偏差となる。3～4 週目は、極東域は概ね正偏差だが、オホーツク海南部からカムチャツカの南東海上にかけて負偏差。



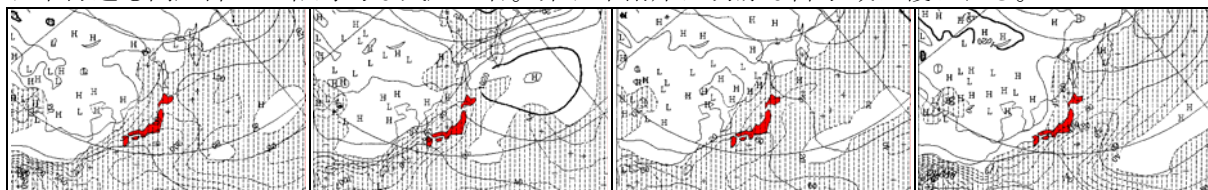
500 hPa 高度予想図（左から）1 か月平均、1 週目平均、2 週目平均、3～4 週目平均

実線：等高線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は 1 か月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

地上気圧と降水量：

月平均では、日本の東海上と大陸が高压部で日本付近は気圧の谷となる。日本の南岸は低压部となっており南西諸島から本州にかけては強い降水域が北東から南西方向に広がり、東北地方にも降水域がかかる。

1 週目は、明瞭な高気圧が北海道の東にあり、日本付近は相対的に西谷傾向。本州には強い降水域が北東から南西方向にかかる。2 週目は、千島と沿海州に高压部があり、本州付近は低压部。日本列島に沿って降水域がかかる。3～4 週目は、日本のはるか南東海上と大陸には高気圧がある。日本付近も高压部だが相対的な気圧の谷。東日本南岸は明瞭な降水域に覆われる。



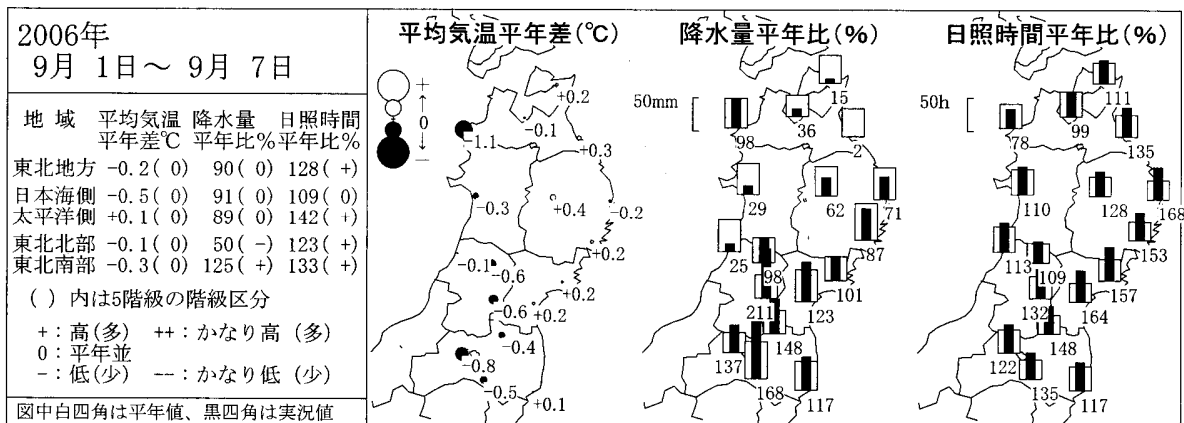
地上予想天気図（左から）1 か月平均 1 週目平均 2 週目平均 3～4 週目平均

実線：等圧線（間隔 4hPa）、陰影部：降水域（1 か月 80mm 以上、1 週目・2 週目 20mm 以上、3～4 週目 40mm 以上）

4. 最近 1 週間（9 月 1 日～9 月 7 日）の天候の経過

この期間、前半は移動性高気圧が通過し晴れる所が多かったが、1日には南岸沖を北東進した低気圧のため、東北太平洋側南部で雨のところ、3日には北海道付近を寒気を伴った気圧の谷が通過したため東北日本海側北部で雨となったところがあった。後半は、台風や低気圧の影響を受けた。5日から6日にかけては三陸沖を進んだ台風第12号による高波のため、岩手県沿岸で県道の通行止めや浸水があった。また6日から7日にかけて前線を伴った低気圧が本州南岸を通過したため東北南部を中心に雨となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）